

スケジュール・養成講座カリキュラム

第1回 2014年1月29日(水) 冬の聴竹居

11:00~12:00	特別見学	聴竹居 京都府乙訓郡大山崎町大山崎谷田31	
12:30~13:30	昼食	三笑亭(天ぶら) 京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字西谷1 ☎075-956-0217	天麩羅御膳
14:30~17:00	養成講座	京都リサーチパーク 京都市下京区中堂寺南町134 ☎075-322-7800	東地区1号館 4F・B会議室

1 古民家の知恵と現代住宅の課題、現代サステナブル建築へ
1万年を超える長い時間積み重ねた堅穴住居。高床の技術があらながらもそこに住むことはしなかったのです。土間の暮らしの中に暑い夏、寒い冬、雨風をしのいで暮らし、子孫を残すことができた知恵があったからなのです。この知恵を継承し、現代民家を再構築する方向性を見出します。

2 空気学、水学
私たちの地球が宇宙空間と異なるのは、空気と水があることです。これは命の源泉であると共に、生活環境に大変大きな影響を与えている要素です。その原論を学び、温湿度、気流、湿度による気象現象と室内環境を学びます。

第4回 2014年5月21日(水) 4月16日に発表します!

11:00~12:00	特別見学	サプライズ企画	
12:30~13:30	昼食	未定	
14:30~17:00	養成講座	京都リサーチパーク 京都市下京区中堂寺南町134 ☎075-322-7800	東地区1号館 4F・B会議室

9 建築術1 木の技
良材を生産し、加工し、建築する技術を学びます。サステナブル時代に最も期待される実践的な技術です。

10 建築術2 土の技
建築する行為は、地業から始まります。地球の表面との付き合い方ですが、この部分の理解を深めないと、上部に構築したものがその価値を失うこととなります。ここでの理解は欠かせません。最近では、不等沈下だけではなく、流動化の課題も解決しなくてはならなくなりました。

11 建築術3 草の技、その他材料
もっとも柔らかな技術が草の技です。茅葺き屋根、畳、各種の仕上げ材に草が使われてきました。これらは更新の技術も内包しています。また、暮らしの中で栽培する生業もありました。文化、芸術、工芸の世界にも近づきます。

第2回 2014年3月19日(水) 東求堂(国宝 日本最古の書院造り) 本堂 弄清亭

11:00~12:00	特別見学	世界遺産 銀閣寺(慈照寺) 京都市左京区銀閣寺町2 ☎075-771-5725	
12:30~13:30	昼食	に志田(湯葉料理) 京都府京都市左京区銀閣寺前町14 ☎075-751-2220	ゆば膳
14:30~17:00	養成講座	京都リサーチパーク 京都市下京区中堂寺南町134 ☎075-322-7800	東地区1号館 4F・B会議室

3 熱学、土学
目に見えない熱を捉え、理解するために熱の原理を学びます。対流、伝導、放射という三要素から、蓄熱までの理解を深めます。地球上の様々な自然現象に対する理解を深めます。

4 木材学
何度でも、使い回すことができる水(氷、水、水蒸気)、土(鉱物、石、粘土)などと異なる生物資源である木材。再生可能な建築材料です。木材の原理、性質を理解し、その活用方法を学びます。

5 健康と衛生学、人体と住環境
私たち自身の健康と生命体としての原理を学び、諸事象に対する健康と衛生のあり方への理解を深めます。そうした、環境全体、人間も含めた環境バランスを実現する関係のコントロールを学びます。

第5回 2014年7月2日(水) はっそうけん 八窓軒(茶室) 大書院・小書院

11:00~12:00	特別見学	曼殊院 京都市左京区一乗寺竹ノ内町42 ☎075-781-5010	
12:30~13:30	昼食	曼殊院弁天茶屋(湯葉料理) 京都市左京区一乗寺竹ノ内町15 ☎075-711-5665	湯葉ランチ セット
14:30~17:00	養成講座	京都リサーチパーク 京都市下京区中堂寺南町134 ☎075-322-7800	東地区1号館 4F・B会議室

12 建築術4 屋根、架構の技
建築技術のなかで最もダイナミックな部分が架構です。どのように加工するのか、そしてそれをどのように組み立てるのか。考えることと作業とがそれぞれに解決していなければ建築することはできません。石の技術、土の技術、そして木の技術があり、それぞれに奥義があります。

13 建築術5 採暖採涼の技
建築技術の根幹でもあります。建築材料の使い方、設備技術の使い方、またそれらのハイブリッドな組合せ方などを学びます。

14 建築術6 自然エネルギー活用
電気や、原子力のない時代には当たり前だったことの多くの技術がここにあります。また、時代が変わり、技術力による成果による太陽光発電や水素電池を始めとする技術があります。建築の中に活用できる方法を学びます。

第3回 2014年4月16日(水) 春の聴竹居

11:00~12:00	特別見学	聴竹居 京都府乙訓郡大山崎町大山崎谷田31	
12:30~13:30	昼食	レストラン タガミ(イタリアン) 京都府乙訓郡大山崎町大山崎電光53-1 ☎075-951-5081	パスタランチ
14:30~17:00	養成講座	京都リサーチパーク 京都市下京区中堂寺南町134 ☎075-322-7800	東地区1号館 4F・B会議室

6 温熱環境シミュレーション
住宅の室内環境をシミュレーションし、どのような環境因子がどのような役割をしているのか、その影響がどの程度なのかを、実践の中で学びます。

7 長寿命とメンテナンス、とくに水仕舞(雨と結露)
住宅を建築する基本技術の重要な一つに長寿命があります。メンテナンスしやすいこと。住み手が自分のできるものが多いこと。そして、漏水や結露に強いことが肝心です。

8 省エネ基準と現行法への対処
現実の住宅づくりは、国や自治体の法規制や政策に大きく影響されています。その動きを学び、無駄のない、地球的な課題に応えられる知識を深め、住み手の期待に応えられる技術を身につけます。

第6回 2014年7月30日(水) 夏の聴竹居

11:00~12:00	特別見学	聴竹居 京都府乙訓郡大山崎町大山崎谷田31	
12:30~13:30	昼食	未定	
14:30~17:00	養成講座	京都リサーチパーク 京都市下京区中堂寺南町134 ☎075-322-7800	東地区1号館 4F・B会議室

15 建築術7 窓の技
外部環境と内部環境との橋渡し、関係づくりと窓と出入口があります。様々な機能を持つところで、内からの機能と外からの機能。そして環境負荷対応。設計の上で大変大きな要素となっています。この基本から応用まで学びます。

16 サステナブルな建設業態の展望
人類の歴史から見れば、地力建設でした。自力ではないところに意味がありました。生活共同体としてのインフラ的な衛生管理、共同の維持管理があつてはじめて民家のような大きな建築を可能としていました。社会経済が進み、貨幣による交換経済が発展すると、こうした共同社会の相互扶助の関係は徐々に破壊されていったのです。そして、住宅が大変高価なものとなったのです。この状況を改めて理解し、住宅を社会化する必要を理解します。歴史的にも、それは福祉住宅として位置づけられてきました。その中で、建築業という生業を私たち自身が、今日の形から明日の形へと変革していく必要があります。

FAXでのお申込みはこちら ▶ 042-573-7399

ふりがな	〒	—
氏名	住所	
会社名	電話番号	メールアドレス
参加コース選択 (チェックしてください)	<input type="checkbox"/> 特別見学+昼食+養成講座 <input type="checkbox"/> 養成講座のみ	オプション (無料) (チェックしてください) 桂離宮の見学 第3回~第6回 9:00~10:00(各回4名)
	<input type="checkbox"/> 見学を希望する <input type="checkbox"/> 見学を希望しない	

※お申込方法: 本フォームにご記入いただき、FAX 番号にご送信ください。